

# 週休 2 日モデル工事の試行運用開始について

## ～ お知らせ ～

平成 30 年 4 月

山 口 県

「週休 2 日モデル工事」について、別添のとおり試行要領を定め、下記のとおり試行運用を開始しますのでお知らせします。

### 記

#### 1. 試行運用開始

平成30年5月1日以降入札公告又は指名通知を行う工事から適用

#### 2. 試行対象工事

原則、請負対象設計額 3,000 万円以上の土木一式工事(災害復旧工事は除く)、かつ施工時期及び現場条件(湧水期施工、交通規制等)に制約がない工事で発注者が選定した工事

#### 3. 「週休2日」の定義

工期内において、原則、土曜日、日曜日を現場の休工日として現場閉所し、現場での作業を一切行わない。(やむを得ない場合、平日へ振替可)

#### 4. 実施方法

- (1)発注者は、選定工事の工期を積上げにより算定し、現場説明書に週休2日モデル工事の試行対象工事であることを明記し発注する。
- (2)受注者からの工事着手前の協議により、当初契約工期の延伸が妥当であると判断される場合は契約工期を延伸する。

#### 5. 確認方法

受注者からの履行報告書に添付されている工事工程表で実施状況を確認する。

#### 6. 評価方法

- (1)週休 2 日の達成が確認された場合は、精算時に、設計変更にて間接工事費率の補正を行い現場経費を補正する。(共通仮設費率補正:1.02、現場管理費率補正:1.04)
- (2)この場合、工事成績評定においては工程管理Aの「休日の確保を行っている」を評価する。なお、達成できなかった場合であっても、減点は行わない。

※ 上記以外については、別添の「週休 2 日モデル工事」の試行要領に基づくこと

# 「週休2日モデル工事」の試行要領

## 1. 趣旨

将来的にも地域を支え得る足腰の強い建設産業を構築するためには、建設産業従事者の就業環境を改善することが重要であり、中でも建設現場における休日確保への取組が、若手技術者を始めとする担い手の確保と育成を進める上で、課題となっている。

このため、本要領は「週休2日」の実現に向け、現場における現状の課題を把握するために試行する「週休2日モデル工事」の実施方法等を定めたものである。

## 2. 「週休2日」の考え方

- (1) 「週休2日」とは、工期内において、原則、土曜日、日曜日を現場の休工日とすることをいう。(祝祭日、夏季休暇、年末年始及び降雨による作業不可能日は含まない)
- (2) ここでいう休工日とは、現場を閉所し、現場での全ての作業を一切行わない日をいう。
- (3) 災害時等の緊急対応及び品質管理・安全管理のため、やむを得ず土日に現場にて作業する場合は、原則として当該週において休工日を振替できるものとする。ただし、土日に作業を行う場合は、事前にその理由を監督職員に連絡すること。

## 3. 対象工事

原則、以下のすべての要件を満たす工事のうち、発注者が選定した工事を対象とする。

- (1) 請負対象設計額 3,000 万円以上の土木一式工事（災害復旧工事は除く）
- (2) 施工時期及び現場条件（渇水期施工、交通規制等）に制約のない工事

## 4. 実施方法

### 【発注方法等】

- (1) 発注者は、モデル工事の発注にあたって、現場説明書（鑑）に「週休2日モデル工事の試行対象工事である旨」を明示（別紙1参照）し発注する。
- (2) また、モデル工事の工期設定については、「工期設定支援システム（山口県版試行）」（別紙2参照）を活用し、設定する。

$$\underline{\text{総工期}} = \underline{\text{準備期間}^{\ast 1} + \text{純工期}^{\ast 2} + \text{後片付け期間}^{\ast 3} + (\text{その他}^{\ast 4})}$$

※1 準備期間：各発注工種区分に該当する日数（設計標準歩掛表【運用編】）

※2 純工期：実作業日数（各施工数量を各作業日当り標準作業量で割ることで各施工に要する作業日数を算定し、施工順序を加味してそれを累加した日数とする。）  
に実作業に対する割増係数を乗じて算出する。

$$\underline{\text{純工期}} = \underline{\text{実作業日数} \times \text{実作業に対する割増係数}} \text{ (設計標準歩掛表【運用編])}$$

割増係数を乗ずることで、雨天、土日、祝日等を考慮している。

※3 後片付け期間：各発注工種区分に該当する日数（設計標準歩掛表【運用編】）

※4 その他：工事抑制期間がある場合は加味すること

- (3) 受注者は、発注者が設定した工期内で「週休2日」の確保が困難な場合は、工期延伸について、工事着手前までに監督職員と協議すること。
- (4) 詳細な実施方法については、別紙3を参照すること

#### 【「週休2日」の確認】

- (1) 受注者は、施工計画書に「週休2日」が確認できる工程表（計画工程表）を添付し監督職員に提出すること。
- (2) また、受注者は、その計画に基づく実施状況が判るよう毎月の履行報告書に実施工程表（別紙4参照）を添付し提出すること。
- (3) 確認する期間は、準備期間を含み工期末から後片付け期間を除いた日までとする。

#### 【精算方法】

- (1) 発注者は、精算時に受注者が次の条件を満たした場合には、間接工事費の補正を行った上で変更契約する。
    - 1) 履行報告書により「週休2日」を達成していることが確認できること。
  - (2) 間接工事費の補正の方法は、施工地域を考慮した補正等を行った後の間接工事費率に、次の各費用に応じ定める補正係数を乗じるものとする。
    - 1) 共通仮設費 1.02
    - 2) 現場管理費 1.04
- ※「週休2日」達成による間接工事費の補正は、積算システムで対応可能である。

#### 【工事成績評価における評価方法】

- (1) 「週休2日」の達成が確認された場合は、「工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表」の「2. 施工状況－II. 工程管理A」の評価対象項目にある「8) 休日の確保を行っている。」にて評価を行う。
- (2) 受注者の責において週休2日が達成されなかった場合であっても、減点を行わない。  
ただし、提出資料への虚偽の記載等が工事中又は工事完了後に判明した際には、不誠実な行為として取り扱う場合がある。

### 5. その他

受注者は、監督職員から配布されるアンケートを記入し、工事完成検査後2週間以内に監督職員に提出すること。

#### 附 則

この要領は、平成30年5月1日から適用する。

番号：\_\_\_\_\_

## 現 場 説 明 書

施行年度	平成 30 年度	
工事名	平成30年度 主要県道〇〇線 道路改良工事 第1工区	
工事場所	山口市〇〇 地内	
入札執行(課)事務所	〇〇土木建築事務所	
工期	着手の時期：平成 年 月 日 完成の時期：平成 年 月 日	施工日数： 日
施工条件	別紙「施工条件書」のとおり。	
工事内容	(工事概要) 延長 L=〇〇〇m 掘削工 〇〇〇〇m <sup>3</sup> 法面整形工 〇〇〇m <sup>2</sup> 擁壁工 〇〇m <sup>3</sup>  <b>【本工事は、「週休2日モデル工事」の試行対象工事である】</b>	

《工事情報等》			
工事名称	〇〇道路工事		
事業区分	道路新設・改築	直接工事費(円)	10,000,000円
工事区分	道路改良	準備工(日数)	40日
工期自	2018年4月1日	後片付け工(日数)	20日
工期至	2018年10月31日	雨休率(係数)	1.70
工期日数(至-自)	214日	算定式による日数	155日
工程表工期日数		判定 >>>>>	工期要確認

【別紙2】

工期算定

リセット

No.	工種	上段:種別 下段:細別	規格	単位	数量	金額	1班当り			雨休率 (実作業に 対する割 増係数: α)	抑制 期間	期間1					摘要	
							日当り作業量	標準作業日数	雨休率考慮日数			開始	日数	班数	クリ パステ イカル	雨休		終了
							②	③	④			⑤						
	準備工	準備工 準備工		式	1	0		40	40	1.00		0	40	1	-	40	39	
1								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
2								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
3								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
4								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
5								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
6								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
7								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
8								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
9								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
10								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
11								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
12								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
13								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
14								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
15								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
16								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
17								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
18								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
19								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
20								#DIV/0!	#DIV/0!	1.70		#DIV/0!	1	Z	#DIV/0!	#DIV/0!		
	後片付け工	後片付け工 後片付け工		式	1	0		20	20	1.00	0	#DIV/0!	20	1	-	20	#DIV/0!	

《工事情報等》			
工事名称	〇〇道路工事		
事業区分	道路新設・改築	直接工事費(円)	27,720,780円
工事区分	道路改良	準備工(日数)	40日
工期自	2018年4月1日	後片付け工(日数)	20日
工期至	2018年10月31日	雨休率(係数)	1.70
工期日数(至-自)	214日	算定式による日数	202日
工程表工期日数	191日	判定 >>>>>	-

工期算定

リセット

### 計算例

No.	工種	上段:種別 下段:細別	規格	単位	数量	金額	1班当り			雨休率 (実作業 に対する 割増係数: α)	抑制 期間	期間1					摘要	
							日当り作業量	標準作業日数	雨休率考慮日数			開始	日数	班数	クリ ティ カル	雨 休		終 了
							②	③	④			⑤						
	準備工	準備工 準備工		式	1	0		40	40	1.00		0	40	1	-	40	39	
1	道路土工	掘削工 掘削	土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 50,000m3未満	m3	3,000		300	10	17	1.70		40	10	1	1	17	56	
2		掘削工 土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	2,000		26	77	131	1.70		57	77	2	2	131	122	
3		転石破碎 転石破碎	火薬使用無し	m3	500		34	15	26	1.70		50	15	1	A	26	75	
4		路体盛土工 路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上 敷均し+締固め 施工数量10,000m3未満 障害無し	m3	2,000		690	3	6	1.70		123	3	1	3	6	128	
5		残土処理工 整地	残土受け入れ地での処理	m3	1,000		1,030	1	2	1.70		95	1	1	C	2	96	
6		残土処理工 土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)	m3	1,000		32	32	55	1.70		50	32	1	B	55	104	
7	法面工	植生工 植生基材吹付工	厚5cm [規]1,000m2以上	m2	1,000		140	8	14	1.70		129	8	1	4	14	142	
8		植生工 客土吹付工	厚2cm [規]1,000m2以上	m2	500		400	2	4	1.70		129	2	1	4	4	132	
9		植生工 張芝工	[規]300m2未満	m2	100		300	1	2	1.70		129	1	1	4	2	130	
10	石・ブロック積(張)工	石積(張)工 石積(練石)(複合)	玉石 直高2.0mを超え2.5m以下 18-8-25(20)BB RC-40	m2	200		19	11	19	1.70		129	11	1	4	19	147	
11	仮設工	工事用道路工 土のう積工	仕拵・積立・撤去 小口並べ 流用土あり	m2	100		6	18	31	1.70		100	18	1	D	31	130	
12	舗装工	アスファルト舗装工 下層路盤(車道・路肩部)	平均厚さ275mmを超え325mm以下 RC-40	m2	1,000		1,110	1	2	1.70		148	1	1	5	2	149	
13		アスファルト舗装工 下層路盤(歩道部)	平均厚さ200mmを超え225mm以下 RC-40	m2	500		268	2	4	1.70		150	2	1	6	4	153	
14		アスファルト舗装工 上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材 平均厚45mm以上55mm以下 平均幅員1.4m以上	m2	1,000		2,300	1	2	1.70		154	1	1	7	2	155	
15		アスファルト舗装工 上層路盤(歩道部)	平均厚さ75mm以上125mm以下 M-30	m2	500		268	2	3	1.70		156	2	1	8	3.4	159	
16		アスファルト舗装工 基層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上り厚50mm	m2	1,000		2,300	1	2	1.70		160	1	1	9	2	161	
17		アスファルト舗装工 基層(歩道部)	平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上り厚30mm	m2	500		940	1	2	1.70		162	1	1	10	2	163	
18		アスファルト舗装工 表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上り厚40mm	m2	1,000		2,300	1	2	1.70		164	1	1	11	2	165	
19		アスファルト舗装工 表層(歩道部)	平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上り厚30mm	m2	500		940	1	2	1.70		166	1	1	12	2	167	
20	区画線工	区画線工 区画線設置(溶融式)		m	1,000		1,500	1	2	1.70		169	1	1	14	2	170	
		区画線工 区画線消去(削り取り式)		m	500		350	2	4	1.70		100	2	1	E	4	103	
	後片付け工	後片付け工 後片付け工		式	1	0		20	20	1.00	0	171	20	1	-	20	190	

### 工期設定支援システム（山口県版試行）利用手順

本システムは、当初設計書において発注者が設定する工期の算定の補助として使用するものであり、以下の手順によって工期の算定を行う。

#### 【1】工事情報の入力について

工事情報欄の水色のセル（工事名、事業区分、工事区分、工期（システム算定前）、直接工事費、雨休率）を入力する。

工事情報欄の黄色のセル（準備工日数、後片付け工日数、算定式による日数）は、自動入力される。

#### 【2】工種、種別、細別、規格、単位、数量の入力について

積算システムで数量総括表をエクセル出力し、工種、種別、細別、規格、単位、数量をコピー&ペーストするなどの方法で入力する。

（注1）「準備工」及び「後片付け工」の行は、編集しないこと。

（注2）行や列の追加や削除はしないこと。

#### 【3】日当り作業量の入力について

設計標準歩掛表を参考に、日当り作業量を入力する。

【1】で入力した数量と日当り作業量から、標準作業日数及び雨休率考慮日数が自動計算される。

#### 【4】雨休率について

工事情報欄に記載のある雨休率が表示される。

「準備工」及び「後片付け工」は、1.00を初期値とする。

#### 【5】班数の入力について

各工種のパーティー数を入力する。

#### 【6】クリティカルパスの入力について

各工種のクリティカルパス（施工順序）を入力する。ただし、別工程の工種は、A～Zを入力する。

## 【別紙 2】

### 【7】工期の算定及び判定について

【1】～【6】の入力が完了したら、工種を入力していない行の I 列の数式を削除（#DIV/0! を取り除く）した後、[工期算定]ボタンをクリックすると、工期が自動で算定される。

工程表工期日数が、標準工期試算式による日数の－10%以上の工期日数であれば「-」、それ以外は「工期要確認」となる。

別工程の工種（A～Z）については、M列に任意の開始日を入力する。

### 【8】再算定について

【1】～【6】で入力した内容を修正する場合は、必ず[リセット]ボタンをクリックし、算定結果を削除した上で、内容を修正し、再度[工期算定]ボタンをクリックする。

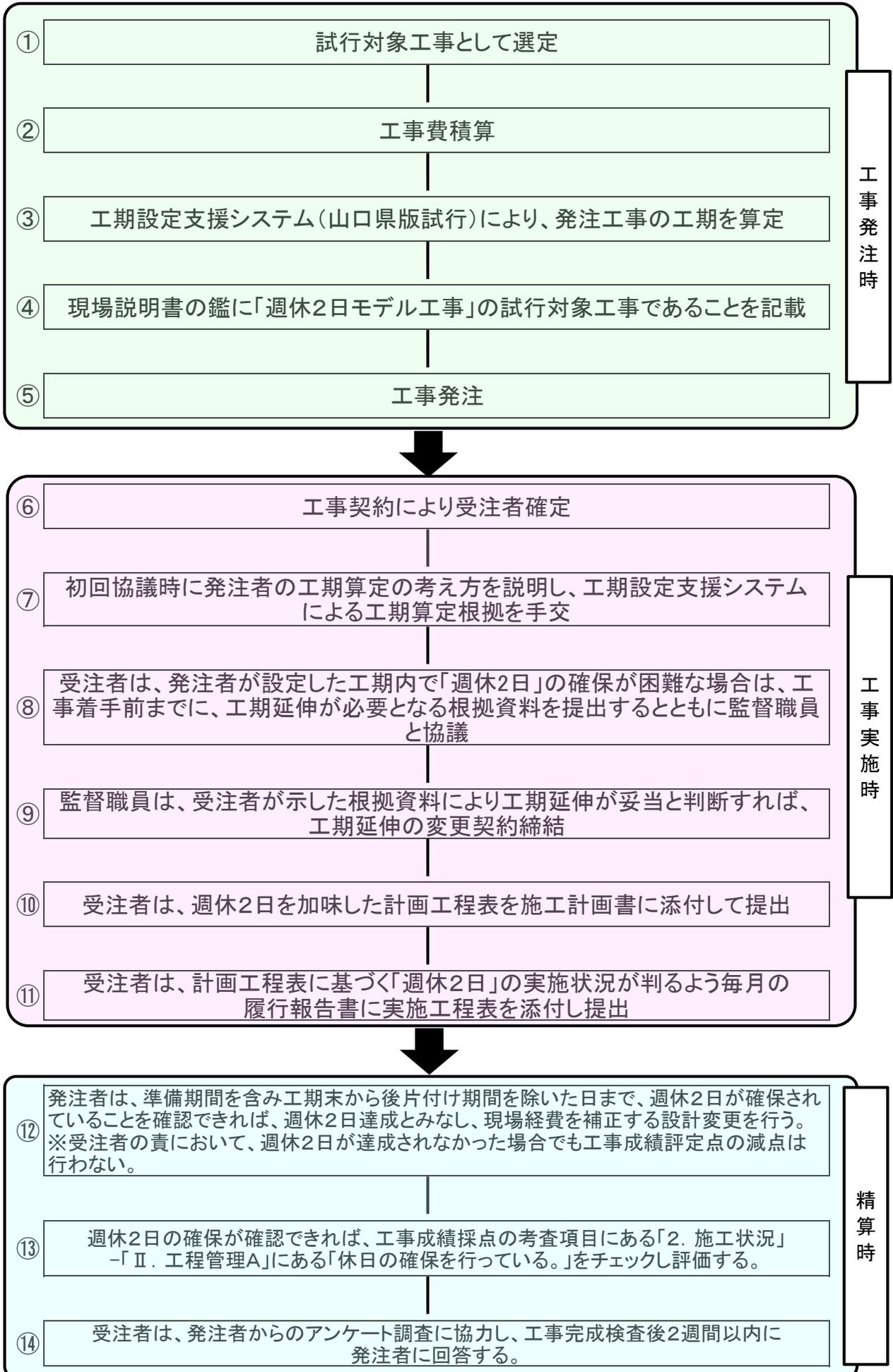
(注) [リセット]ボタンをクリックせずに再度[工期算定]ボタンをクリックすると、正しい工期が算定できません。

### 【9】不要行の取扱いについて

工種が入力されていない不要な行は、削除ではなく、非表示とする。

(注) 行を削除すると、再算定できなくなる。

# 「週休2日モデル工事」試行対象工事の発注から工事完成までの実施フロー



◆参考様式

【別紙4】

【休工日取得実施工程表】 工事名：○○○○工事

凡 例	
○	: 休工日
●	: 振替休工日
作	: 作業日
振作	: 振替作業日
x	: 振替休工日が取得できなかった作業日

平成30年5月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
作業工種			火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水					
工程	準備工	計画	■						■																												
		実績	■						■																												
	仮設工	計画																																			
		実績																																			
	土工	路体盛土 計画																																			
		実績																																			
		計画																																			
		実績																																			
受注者	○○建設(株)	計画	作	作	作	作	○	○	作	作	作	作	作	○	○	作	作	作	作	作	○	○	作	作	作	作	作	○	○	作	作	作					
		実績	作	作	○	○	○	○	●	作	作	作	作	振作	○	○	作	作	作	作	作	○	○	作	作	作	作	作	○	○	作	作	作				
備考									1 2 日の 振替 休工 日																												